

## 人権特設相談所

日常生活や身の回りの人権問題について、人権擁護委員が相談を受けます。相談は無料で、秘密は厳守します。

- 日時／10月19日（木）13:00~16:00
- 場所／金屋文化保健センター

## 電話による人権相談窓口

みんなの人権110番（さまざまな人権問題）

☎ 0570-003-110

女性の人権ホットライン（家庭内暴力など女性の人権問題）

☎ 0570-070-810

こどもの人権110番（いじめ・虐待など子どもの人権問題）

☎ 0120-007-110

考えてみませんか、私の人権、あなたの人権。

# 人権だより

総務課（吉備庁舎）

電話 22-3291

ファクス 52-3210

## 語り継ぐこと

今年5月、地中海に面するトルコの都市メルスインと2月の大地震で壊滅的な被害を受けたオスマニエを訪れました。メルスインは串本町と「エルトゥールル号」との関係で姉妹都市となっている町です。広い港の公園の一角に串本と同様の慰霊碑があり、「串本通り」と名付けられた海岸通りもあります。

慰霊碑の近くで談笑していた若者にエルトゥールル号のことを知っているか尋ねると、みんな「知らない」との返事。ある程度は予想していたものの…。一方、食事を一緒にした60歳代と思われる地元の方に伺ったところ、エルトゥールル号の話は、昔、学校で学んだとのことでした。

ご存じのとおり、明治23年（1890年）、オスマン帝国皇帝からの親書を明治天皇に届けた帰途、エルトゥールル号は台風に遭遇。串本大島の岩礁に座礁・大破し、650余名のうち587名が帰らぬ人となりました。大島の住民は嵐の中、命の危険も顧みず69名を救出。生存者は神戸の病院で治療後、日本

の軍艦2隻でイスタンブールまで帰還させました。

昭和55年（1980年）のイラン・イラク戦争の際、テヘランに残された日本人約200人が無事にイランから脱出することができたのは、戦争中の危険をも顧みず、2機の救援機を飛ばしてくれたトルコ航空のおかげでした。これはエルトゥールル号遭難時の恩返しだったと言われています。

また、平成23年（2011年）3月の東日本大震災や、同年9月の紀伊半島大水害の際も、トルコはいち早く救助隊を派遣し、長期間の救助活動を行うとともに、義援金を送ってくれました。今年2月のトルコ・シリア大地震では、小学校の児童会も含め、日本中で募金箱が設置され、義援金・募金活動が展開されています。

これは、友好の歴史が語り継がれ、日本人とトルコ国民の心に記憶されているからだと思えます。

人権機関有田川理事 和泉保廣

## 弁護士相談もあります 人権相談窓口

和歌山県人権啓発センターでは、人権相談の受け付けや弁護士による法律相談を行っています。いずれも相談料は無料です。

●人権電話相談（人権ホットライン）／人権問題に関するご相談に、相談員が対応します。面接での相談も可能です。

☎ 073・421・7830

・開設日時／月曜日～金曜日 9時～16時（祝日、年末年始を除く）

●弁護士による法律相談／人権問題に関するご相談に、弁護士が対応します。事前予約が必要です。

☎ 073・435・5420

・開設日時／偶数月第2・第4木曜日 奇数月は第2土曜日、第4木曜日

※実施日が祝日の場合は翌日に実施  
・相談方法／センター来所による面接相談・県振興局来所によるオンライン相談（1枠40分×4枠）

## 和歌山県人権啓発センター

（和歌山市手平2丁目1・2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階）